【小学校·中学校·義務教育学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名 神埼市立脊振中学校 達成度 (評価)

- A:十分達成できている B:おおむね達成できている
- C:やや不十分である
- **D**: 不十分である

前年度

- ・校内研究において小中連携を継続し、生徒1人1台端末の有効活用など、分かる授業のための授業改善の必要がある。
- ・生徒が安心して過ごせる学校生活を目指し、道徳の時間及び生徒指導・教育相談における取組の充実を図り、心の教育に取り組む必要がある。
- ・生徒健康診断の結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の調査結果や報告書を活用して、生徒の健康・体つくりに取り組む必要がある。
- ・業務の見直しを継続し、職員の働き方に対する意識改革を進め、業務改善・教職員の働き方改革を推進する必要がある。

学校教育目標

評価結果の概要

- · 校訓 「和気、立志、報恩」
- ・学校教育目標 「脊振を愛し、進んで学ぶ、たくましい子どもの育成」
- ① 確かな学力(確かな学力の定着、家庭学習の充実、情報通信技術の有効的な活用の推進)
- ② 豊かな心(特別な教科「道徳」の実施に向けての対応、読書活動の充実、いじめ防止の徹底、自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進)
- 本年度の重点目標
 - 4 小中連携教育の積極的な実践研究の推進
 - ⑤ 危機管理(考えられる危機、危機の発生に対しての対応)
 - 学校における働き方改革の推進

重点取組内容・成果指標				中間評価			5 最終評価			
共通評価項目										→ 4×40 W 4×
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	共 体的 以 粗	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師、4件法のアンケートで80%以上	・県学習状況調査結果の分析から、校内研究の研究内容を決め、授業改善を進める。 ・教職員間で共通実践とその評価指標を共有し、校内研究によりマイブランの取組を促進する	В	・8月に県学習状況調査の分析を行い、それを基に、10月に全員がそれぞれのマイプランを反映した指導案で授業実践(公開)を行った。 ・3学期に、各自がマイプランの取り組み、成果と課題を校内研究としてまとめる。	В	・12月の県学習状況調査結果の分析を行い、学力向上対策評価シートを2月中に作成して、マイプランの成果指標の達成度を報告させる。 ・校内研究のまとめ(冊子)を書くことを通して、自己の取り組みと学校課題に対する振り返りを行う予定。 ・学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師、4件法のアンケートで71.4%	В	・学習状況調査の結果から、先生方の自己研 鑚の跡がうかがえた。	・学力向上コーディ: ター ・研究主任
		◎「授業はわかりやすい」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」「ややそう思う」と回答する生徒100%	・各教科で生徒の興味・関心、適性に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を積極的に取り入れた授業づくりに取り組み、生徒にとって分かりやすい授業を実践する	В	・生徒アンケート(12月) 「授業は分かりやすい」に対して 「そう思う」・・・61.8% 「ややそう思う」・・・38.2% 計100% ・学期末に教科毎の授業評価を実施し、授業 改善に反映させ、指導の充実を図る。	В	・生徒アンケート(2月) 「授業は分かりやすい」に対して 「そう思う」・・・61.5% 「ややそう思う」・・・34.6% 計96.1% ・分かりやすい教科とそうでない教科があると いう回答。引き続き授業力の向上に努める。	A	・授業を参観して、分からない生徒に別の生徒が教えていたことに大変驚いた。以前は分からない生徒は分からないままだった。授業法が新しいものに変わってきていることがよくわかった。	ター
		○「道徳の授業は楽しい、あるいはため になる」に対し、4件法のアンケートで「そ う思う」「ややそう思う」と回答する生徒 80%以上	・教科書の教材を用い、年間指導計画 に沿って、「考え、議論する道徳」の授業 に取り組む ・情報交換や教材研究により、ワーク シートの作成や発問を工夫改善する	В	・生徒アンケート(12月) 「道徳の授業は楽しい、あるいはためになる」に対して 「そう思う」・・・82.4% 「ややそう思う」・・・8.8% 計91.2% 「ややそう思わない」・・・8.8%	A	・生徒アンケート(2月) 「道徳の授業は楽しい、あるいはためになる」に対して 「そう思う」・・・76.9% 「ややそう思う」・・・15.3% 計92.2% 「ややそう思わない」・・・7.6%	A	・道徳で育つ内面的なことが学力に響くと思う。また、これからの時代の子供たちにはこれまで以上に他者の気持ちを汲んで自身の行動を考えていかなければならない。そういう意味でも大事にしてほしいし、脊振中で大事にされているものと思う。	·道徳教育推進教師 ·各担任
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応体制の 充実	〇「学校は安心して過ごせる」に対し、4 件法のアンケートで「そう思う」と回答す る生徒を90%以上	・毎週1回の生徒指導連絡会で情報交換を行い、問題の早期発見、早期対応に努める・毎月1回生活アンケートを行い、未然防止、早期発見に取り組む	С	・生徒アンケート(12月) 「学校は安心して過ごせる」に対して 「そう思う」・・・79.4% 「ややそう思う」・・・11.7% 計91.1% 「ややそう思わない」・・8.8% ・「そう思う」以外の回答の生徒に面談を行い、そ の結果と対応を全職員で共通理解し、個に応じて 具体的な配慮や声掛けを行う。	В	・生徒アンケート(2月) 「学校は安心して過ごせる」に対して 「そう思う」・・・73、1% 「ややそう思う」・・・19、2% 92、3% 「ややそう思わない」・・・7、7% ・「そう思う」以外の回答の生徒にその都度面談を行った。面談者を担任だけに固定するのではなく、いろいろな職員が関わっていくよう体制を整えた。	A	・授業が分かるということや、いつでも先生が 話を聞いてくれるという安心感が子供たちから 感じられる。	·生徒指導主事 ·各担任
●健康・体つくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●「運動やスポーツをすることが好き」に 対し、4件法のアンケートで「好き」、「や や好き」と回答する生徒95%以上	・部活動の活動時間を、平日2時間、週 休日3時間程度とする	С	・生徒アンケート(12月) 「運動やスポーツが好きだ」に対して 「そう思う」・・・77.2% 「ややそう思う」・・・17.1% 計94.3% 「ややそう思わない」・・・5.7%	A	・生徒アンケート(2月) 「運動やスポーツが好きだ」に対して 「そう思う」・・・88.4% 「ややそう思う」・・・7.7% 計96.1% 「ややそう思わない」・・・3.8% ・体育の授業や国スポ出前授業などを通して、スポーツに親しむ機会を多く設定した。	A	・部活動に関して、顧問の先生の指導や外部 指導者の活用などで、運動やスポーツを楽し みながら続けることが生涯スポーツと関わっ ていく素地となっていく。	•保健体育担当 •部活動担当 •部活動顧問
●業務改善・教職員の働き 方改革の推進	の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校 等時間の上限を遵守する	・専用PCへの入力により在勤時間の自己管理を行う ・出勤時にその日の施錠時刻を確認し、 退勤予定時刻をボードに示す	С	・全職員の時間外勤務時間の平均 9月:43.0時間 10月:53.2時間 11月:50.5 時間 ・45時間以上時間外勤務時間の職員数 9月:5名 10月:8名 11月:6名 ・出張後の直帰を徹底。・定時退勤日(水曜) の定時退勤を徹底。・土日の部活動指導従事 体制の見直し。	В	・全職員の時間外勤務時間の平均 12月:51.1時間 1月:37.5時間 ・45時間以上時間外勤務時間の職員数 12月:8名 1月:3名 ・出張後の直帰を徹底。・定時退勤日(水曜) の定時退勤を徹底。・土日の部活動指導従事 体制の見直し。	В	・部活動での時間外勤務が時間増になっているようだ。人的配置や手当ての措置が必要だと思うし、外部なら誰でもいいわけでなく、やはり、指導の趣旨を分かった人であってほしい。そのような人選を含めて、行政にはしっかりとした仕組みを作ってほしい。	· 教頭

●・・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望

学力向上については分かりやすい授業を目指して、学力向上対策評価シートを活用し成果と課題を確認しながら授業改善に取り組むことができた。また、時間内に業務を終わらせるための計画的な業務遂行への意識が少しずつ高まってきた。次年度も落ち着いた教育環境を保ちながら共通理解・共通実践が進められるように、引き続き以下の取組を行う。 ・子が同立についてはカルリペティを大乗を自有して、子が同立対東計画シーで名が用した大き味品を確認しなから放来収音に取り組むことができた。また、時間的に来劣を終わらせ、 校内研究において小中連携を継続する。生徒1人1台端末を用いた授業に取り組み歩めかたので、持ち帰りやオンライン授業にも対応できる授業づくりに取り組み学力の向上を図る。 ・生徒が安心して過ごせる学校生活を目指し、道徳の時間の充実させるとともに生徒指導及び教育相談における取組の充実を図り、心の教育に取り組む。 ・生徒健康診断の結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の調査結果や報告書を活用して、生徒の健康・体つくりに取り組む。 ・業務の見直しを継続し、職員の働き方に対する意識改革を進め、業務改善・教職員の働き方改革を推進する。